

第54回風に関するシンポジウムプログラム

共催学会：水文・水資源学会、大気環境学会、土木学会、日本海洋学会、日本風工学会、日本気象学会、日本建築学会、日本砂丘学会、日本雪氷学会、日本地理学会、日本熱帯農業学会、日本流体力学会、農業施設学会、農業農村工学会（五十音順）、日本沙漠学会（幹事学会）・日本農業気象学会（幹事学会）

日 時：2008年2月23日（土）10:00～17:00

場 所：山口大学・大学会館（〒753-8511 山口市吉田 1677-1、連絡先：083-933-5861）

http://www.yamaguchi-u.ac.jp/annai/campusmap/campusmap_yoshida.html

参加費：無料

プログラム

10:30～10:40：開会の挨拶 真木 太一（琉球大学農学部、九州大学名誉教授）
（日本沙漠学会・日本農業気象学会風に関するシンポジウム担当）

一般研究発表

10:40～12:00

1. 風の移動観測による局地風「まつぼり風」の観測

○黒瀬義孝（近畿中国四国農業研究センター）、真木太一（琉球大学農学部）、大場和彦（九州沖縄農業研究センター）、丸山篤志（九州沖縄農業研究センター）

2. 宮崎県高千穂町の祖母山風穴の特徴について

真木 太一（琉球大学農学部）

3. 自然風の速さを測定するための無指向性ピトー管

○高見晋一（近畿大学農学部）・大野宏之（農業環境技術研究所）・小南靖弘（中央農業総合研究センター北陸研究センター）

4. 最近の九州・沖縄地方の台風の特徴について

真木 太一（琉球大学農学部）

12:00～13:00：休憩

13:00～14:20

5. 台風域内における上空風の非対称性分布ーウィンドプロファイラ観測風と傾度風の比較ー

○藤井 健・田中基裕・土屋香奈（京都産業大学理学部）

6. 台風災害の報道分析と過疎・高齢化地域における防災対策ー2005年台風14号を事例としてー

○東山真理子（山口大学大学院農学研究科）・岩谷 潔・高山 成・山本晴彦（山口大学農学部）

7. 水稲における潮風害の特徴と人工衛星データを用いた被害評価

○古賀敦子・高山 成・岩谷 潔・山本晴彦（山口大学農学部）

8. 街路樹に及ぼす飛来塩分の影響と風の関係

○木村吉郎・高見智幸・大串淳也・久保喜延（九州工業大学工学部）・福井伸治（北九州市建設局公園緑地部）・前田潤滋（九州大学大学院人間環境学研究院）

14:20～14:40：休憩

14:40～15:40

9. わが国で近年に発生した竜巻災害の特徴

○山本晴彦・高山 成・岩谷 潔（山口大学農学部）・白水隆之・土谷安司・兼石篤志・原田陽子・東山真理子（山口大学大学院農学研究科）

10. 建築物は竜巻にどのように対処するかー竜巻シェルターの海外事例ー

木村 正彦（中部電力株式会社）

11. 接地層と混合層における大気乱流の同時観測と卓越渦の解析

吉田聖治・田中広樹・小林菜花子（名古屋大学大学院環境学研究科）・○檜山哲哉（名古屋大学地球水循環研究センター）

15:40～16:50

特別講演：気象環境に関する研究 40 年

早川 誠而（山口大学農学部教授、農場長、農学博士）

16:50～17:00 閉会の挨拶：第 55 風に関するシンポジウム開催幹事学会（風工学会）担当

17:30～19:00 交流会（会費 4,000 円程度、同会場）